

非核・平和都市宣言

私たちのまち まいばら には
青い空と緑にはえる山々
清流のせせらぎ
みのり豊かな田園
母なるめぐみの湖(うみ)がある

まちかどや広場には
子どもたちの歓声が
若者たちの歌声が
軒先からは人々の
静かな語らいがきこえてくる

遠く海をこえた かなたにも
同じ人々のくらしと
しあわせがある

しかし 今
地球をおおう核の脅威は
あらゆる命のいとなみを破壊し
かけがえのない平和を
一瞬にして 奪いさろうとしている

私たちは 知っている
核兵器が
生きとし生けるもの
すべてを破壊しつくして
何も もたらさないことを

私たちは 知っている
すべての人間が手をつなぎ
平和な明日に向かって
力をよせあうことが
どんなに大切で
すばらしいかを

悲惨なヒロシマ ナガサキの体験から
核兵器を「持たず 作らず 持ち込ませず」の
非核三原則を全世界に訴え
戦争の放棄 恒久の平和を誓った
平和憲法を
私たちは 守ります

人々の明日にとって
子どもたちの笑顔が
若者たちの明るい未来が
いきいきとした命のいとなみが
永遠に続くことを願っている

私たちは 訴えます
核を持つすべての国々に
すべての核兵器を 今 すてよ！ と

この市民の声と 願いを
世界に広く訴えるため
ここに米原市は
「非核・平和都市」を宣言する

市は、平成17年に「非核・平和都市」を宣言し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴えています。

「非核都市宣言」とは、核兵器廃絶や非核三原則を求める内容の自治体宣言や議会決議を行うことで、最初の宣言は1980年にイギリスのマンチェスター市で行われました。その後、この宣言運動は世界中に広がり、日本でも8割以上の自治体が、この非核宣言を行っています。

広島、長崎に原爆が投下され、今年8月で67年が経過します。被爆者や戦争体験者の高齢化により、原爆と戦争の記憶は次第に風化し、忘れ去られようとしています。

米原市では、この宣言を通じて次代を担う子どもたちへ平和の尊さを提唱していきたいと考えます。核廃絶と平和希求への意思表示として宣言した宣言文を改めてご一読いただき、地域や家庭などで核兵器のない世界の平和について話し合い、考えてみてください。

問 市 総務課(米原庁舎) ☎ 52-1552 FAX 52-4447

米原市平和祈念式典

- 日 時 8月11日(土) 10時から
- 会 場 米原公民館
- 内 容 黙祷・宣言文朗読・
次世代戦跡訪問研修の感想

平和への願いを広く市民・国内・世界に訴え、戦没者の慰霊とともに恒久平和のまちづくりを願い開催します。ぜひご来場ください。

■ 市 社会福祉課(山東庁舎)
☎ 55-8102 FAX 55-8130

戦没者遺児のみなさんへ 慰霊友好親善事業のご案内

この事業は、戦没者の遺児が亡き父等の眠る地に赴いて慰霊追悼を行うとともに、現地の方々との友好親善を深めることを目的としたものです。

詳しくは、日本遺族会までお問い合わせください。

- 実施地域 マリアナ諸島・フィリピン・ミャンマーなど
- 参加費用 9万円
(集合場所までの旅費は含まれていません)

問 財団法人 日本遺族会 ☎ 03-3261-5521

平成17年6月24日米原市